

(令和5年12月1日現在)

1. 地域における技能振興事業

事業実施状況

(1) 技能五輪全国大会予選の実施等

① 技能五輪全国大会の予選の実施

若年者の技能向上を図るため、技能競技大会への参加や上位入賞など目標を掲げる事で、より一層の効果が期待できるものとし、以下に示す1職種について実施を予定している。

No	職種	選手	実施予定日
1	電気職種	1人	令和6年2月

② 各種競技大会への参加支援の実施

技能五輪全国大会、若年者ものづくり競技大会への参加を促進するため、中小企業・教育訓練機関等に所属する参加選手と指導者の旅費と工具等の運搬について援助を行い、若年技能者の大会参加を支援する。

(ア) 技能五輪全国大会への援助

○第61回技能五輪全国大会 (令和5年11月9日～21日・愛知県、千葉県で開催)

支援対象

No	職種	選手	指導者	所属
1	電気溶接	2人	2人	科学技術学園高等学校日立校
2	建築大工	1人	1人	茨城県立水戸工業高等学校
3	冷凍空調技術	2人	2人	県立水戸産業技術専門学院
	3職種	5人	5人	

(イ) 若年者ものづくり競技大会への援助

○第18回若年者ものづくり競技大会 (令和5年8月1日～2日・静岡県で開催)

支援対象

No	職種	選手	所属
1	建築大工	1人	県立水戸産業技術専門学院

(2) 卓越した技能者(現代の名工)の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援

社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、青少年が技能労働者の道に入職する事を促進するため、茨城県内における卓越した技能者(現代の名工)の被表彰者の取材を行い、中央技能振興センターが運営するサイト「技のとびら・現代の名工Navi」に掲載されるコンテンツの作成支援を行う。

	被表彰者数	掲載日
令和4年度	4人	令和5年3月
令和5年度	8人	令和6年3月(予定)

(3) 「地域発！いいもの」応援事業及びグッドスキルマーク事業の休止に伴う対応

両事業は令和5年度新規認定を行わないため、現時点では特に対応が必要な事案はないが、既認定事業者から認定内容の変更・廃止等の相談を受けた際は適宜中央技能振興センターへの取次ぎを行う。

2. ものづくりマイスター等の認定、登録に関する業務

事業実施状況

(1) ものづくりマイスター等の開拓

令和4年10月に策定された認定要件及び対象分野に基づき、ものづくりマイスターの候補者について情報収集を行う。当協会の会員企業等に制度の周知を行い、定年退職者及び早期退職者などものづくりマイスターとして活動が望める方の情報収集など、ネットワークを活用した開拓を進める。厚生労働省により目標が定められており、令和5年度は6月の第1回申請、9月の第2回申請で計19名が認定され、12月の第3回受付で2名の申請を予定している。

ものづくりマイスターの登録 目標値 延べ8人以上

業種	令和5年度	令和4年度まで	延べ認定者数
ものづくりマイスター	21人	337人	358人
ものづくりマイスター(+DX)	0人	0人	0人
ものづくりマイスター(IT部門)	0人	56人	56人
合計	21人	393人	414人

(令和6年3月までの見込みを含む)

(2) ものづくりマイスターへの説明

指導技法等講習の受講が必要とされるものづくりマイスター認定者に対して、実技指導に当たる前に受講が必要である旨、説明をする。

(3) 申請書類等の取りまとめ

認定申請要綱に基づき申請等に係る相談に対応するとともに、認定基準を満たしているか、証明書等の添付書類に不備がないか、申請書の記入ミスがないか等を確認する。

(4) ものづくりマイスターに対する研修

新たに登録されたものづくりマイスター等に対して、実技指導結果報告の作成方法等の事務、指導における個人情報保護・各種ハラスメントの防止・若年者等との接遇に関する知識付与等も含めた指導技法等講習を行う。ただし、職業訓練指導員免許を有している方は受講を免除する事が出来る。

開催状況

	実施日	人数
1回目	11月9日(木)	3人

3. ものづくりマイスターの活用に係る業務

事業実施状況

(1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助

中小企業、高等学校等に対して事業利用に向けた相談を受ける窓口を設け、技能検定の実技試験等を活用した若年技能者の人材育成に係る取組みなどを紹介し、新たな派遣先の開拓を進める。11月末までの相談・援助の実績は以下の通り。

若年技能者の人材育成に係る紹介・相談・援助

	企業・団体	教育訓練機関	地方自治体	その他(商工会等)
相談社数	28社	10機関	4所	53所

(2) ものづくりマイスターの派遣による指導の実施

派遣先から要請を受けた内容について、そのニーズに対応できる最適なものづくりマイスターを選定し、技能競技大会の競技課題や技能検定試験の実技試験問題などを用いた実技指導を行った。また、ものづくり産業への理解を深める機会の創出を図るため、小中学生を含む不特定多数を対象にもものづくりへの興味を得られる内容で公共施設等への派遣を行った。11月末時点での実績は3,699人日であり、最終的に目標値の4,140人日を達成できる見込みである。

今年度は、派遣先企業の新規開拓に積極的に取り組み、新に11社に派遣を実施した。

ものづくりマイスターの派遣 目標値 活動数4,140人日以上

派遣先	派遣数	日数	派遣者数	活動数
① 中小企業	27社	339日	339人日	817人日
② 業界団体	1団体	2日	8人日	62人日
③ 高等学校	19校	328日	471人日	3,438人日
④ 公共施設等	6所	18日	70人日	525人日
合 計			888人日	4,842人日

(令和6年3月までの実施見込みを含む)

(3) 若者に対する「ものづくりの魅力」発信

①地域若者サポートステーション事業の支援対象者に対する「ものづくりの魅力」発信

サポステ事業の支援対象者は様々な要因を抱えている若者が多く配慮が必要であるため、県内のサポートステーションと連携を図り有効活用が見込まれる場合は、積極的に検討・協力を行うが、現時点までは相談依頼がなく実施なし。

②小中学校の児童・生徒に対する「ものづくりの魅力」発信

小中学校の児童・生徒等を対象に、ものづくりに興味を持ち、ものづくり現場での就業等を実現できるように、マイスター派遣を行った。

派遣先	派遣数	日数	派遣者数	活動数
中学校	1校	1日	19人日	120人日
合 計			19人日	120人日

(4) 熟練技能者等による派遣指導及び「ものづくりの魅力」発信事業

ものづくりマイスターの対象分野に該当しない職種について、ものづくりマイスターと同様に小中学生を含む不特定多数を対象に、ものづくりへの興味を得られる内容で公共施設等にて熟練技能者の派遣を行った。

派遣先	派遣数	日数	派遣者数	活動数
公共施設等	1所	2日	6人日	60人日
合計			6人日	60人日

4. 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

事業実施状況

(1) 連携会議の設置

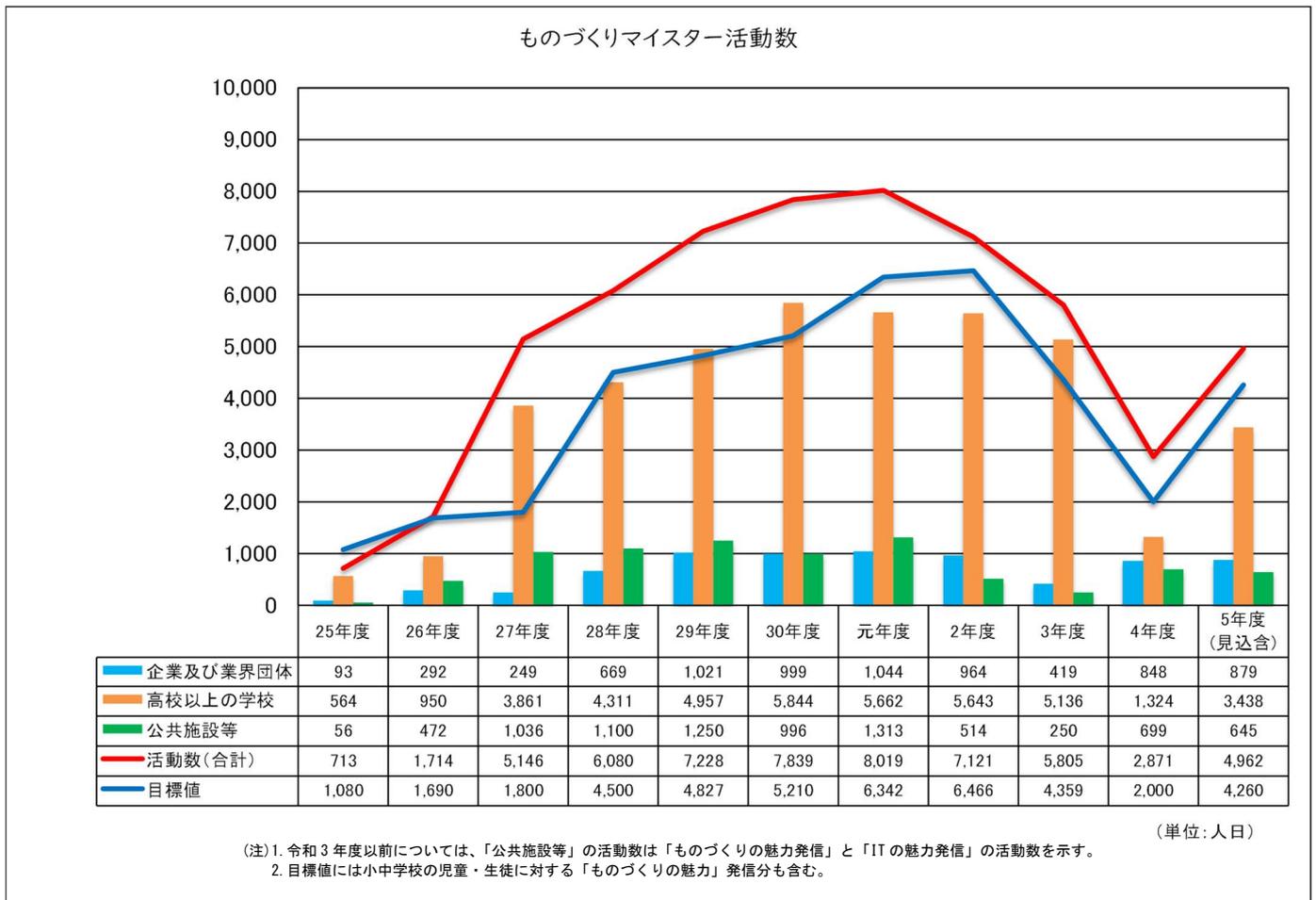
本事業の効果的な実施、さらに関係者の取り組みによる相乗効果を図ることを目的に連携会議を設置し、次の団体の代表者を委員として委嘱し、相互協力を図る。

- ・ 一般社団法人茨城県経営者協会
- ・ 茨城県中小企業団体中央会
- ・ 公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構
- ・ 茨城県商工会議所連合会
- ・ 茨城県商工会連合会
- ・ 茨城県技能士会連合会
- ・ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構茨城支部
- ・ 茨城県産業戦略部人材育成課
- ・ 茨城県教育庁学校教育部高校教育課
- ・ 茨城県職業能力開発協会

(2) 連携会議の開催回数

	1回目	2回目
時期	令和5年6月13日	令和5年12月12日
内容	令和5年度推進計画の決定	令和5年度の事業実施状況等の報告
状況	新型コロナウイルス感染予防のため、WEB会議にて実施して、出席者全員の同意を頂き、推進計画を決定した。 また、事業運営の連携協力を図るため、意見交換を実施した。	新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたが、会議効率化のため引き続き集合形式を取り止め、WEB会議で対応する。

5. ものづくりマイスター実績推移について（平成25年度～令和5年度）

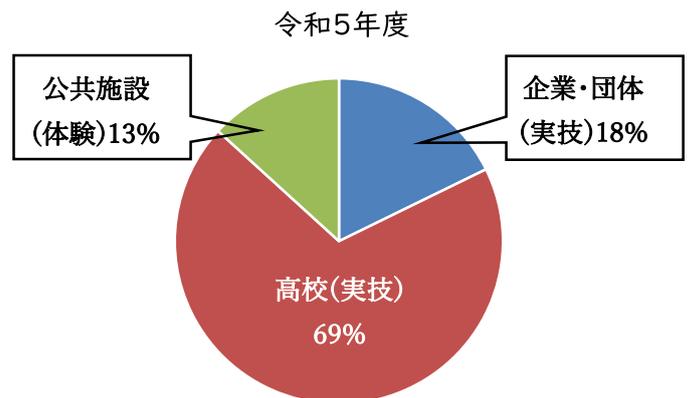
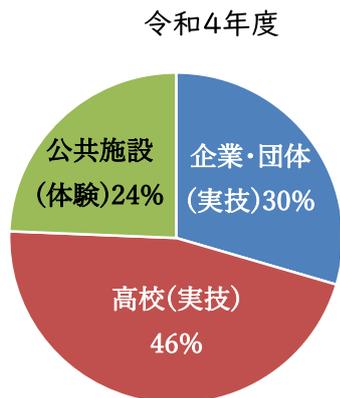


6. ものづくりマイスター派遣に関する対前年度比較 ※令和5年度は見込みを含む

(1) ものづくりマイスター派遣先別受講者数

令和5年度の受講者数は、全体で見ると前年度比で約170%、最も多かった令和元年度の約60%まで復活する見込みである。コロナ過で減少した予算規模を考慮すると十分な成果と言える。これには高校への連続派遣の制約が外れて大きく伸びたことが貢献している。また、企業・団体への派遣は新規派遣先の開拓成果もあり、令和元年度と同等レベルになる見込みである。

	企業・団体(実技)	高校(実技)	公共施設(体験)	合計
令和5年度 受講者数	879人	3,438人	645人	4,962人
令和4年度 受講者数	848人	1,324人	699人	2,871人

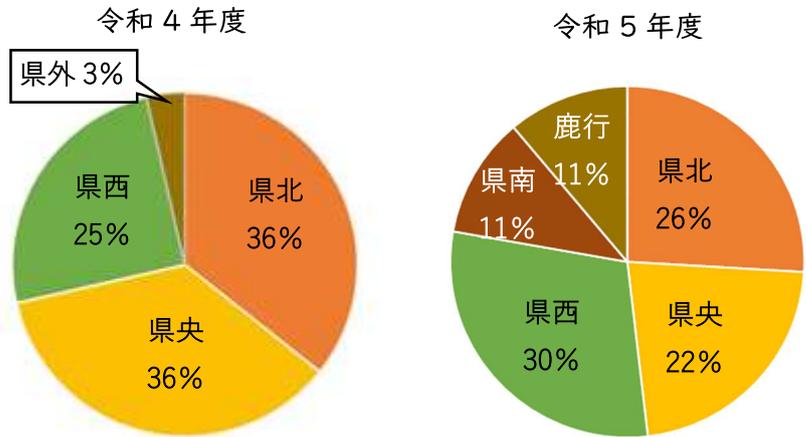


(2) ものづくりマイスター地域区分別派遣状況（企業・団体）

令和5年度の企業・団体への派遣は、同一事業所への連続派遣が認められなかったことから、県北、県央では減少したが、県西、県南、鹿行での新規派遣先の開拓の結果。前年並みの成果が得られた。

この結果、前年は県北、県央地区に派遣が偏っていたが、今年度は全県にまんべんなく派遣することが出来た。

	令和4年度	令和5年度
県北	10件	7件
県央	10件	6件
県西	6件	8件
県南	0件	3件
鹿行	0件	3件
県外	1件	0件
	27件	27件



(3) ものづくりマイスター職種別派遣状況（企業・団体）

令和5年度の職種別の派遣状況については、令和4年度を含め例年とほぼ同様の構成比となった。機械加工、機械検査、電気溶接等機械系の製作に関するマイスター指導のニーズが高い傾向が続いている

